

## 令和元年度 第2回農業大学校外部評価会議 議事録

I 開催日 : 令和2年2月20日(木) 13:30~15:30

II 開催場所 : 大分県立農業大学校 会議室

### III 出席者

#### 外部評価委員

教育関係者	大分県高等学校教育研究会農業部会 会長 (久住高原農業高等学校長)	小俣 秀之 氏
生産者	大分県農業法人協会 会長	増田 徳義 氏
〃	地元女性農業者	古庄 京子 氏
卒業生	大分県立農業大学校同窓会 副会長	湯浅 正徳 氏
農業団体	大分県農業協同組合常務(営農担当)	三浦 堅二 氏
行政	豊後大野市 農業振興課長	志賀 正 氏
農業大学校	校長、副校長、次長兼総務学生課長、農学部長兼教務課長 研修部長	

### IV 次第

1 開会 (進行: 次長)

2 校長あいさつ

学校運営の改善、発展のために実施している本会議も9年目となりました。活気あふれる学園づくり・質の高い教育の提供・農業の担い手の確保の3本柱を運営方針に掲げ、人材育成を行っているところです。本日の評価を踏まえて、学校運営の改善をしていくこととしています。1回目の評価会議でご指摘いただきました、学生のコミュニケーション能力の向上や農業機械の操作技術の向上にも努めてきました。本年度の取り組みについてご評価していただきますようお願いいたします。

3 小俣委員長あいさつ

今年1年間の取り組みを評価して、ぜひ前向きなご意見をして下さい。

4 配付資料の確認(次長兼総務学生課長)

5 議事 (議長: 小俣委員長)

(1) 令和元年度の重点目標に対する取り組み状況からの自己評価について

<報告事項 1>

**【運営方針1】 活気あふれる学園づくり**

数値目標 基礎学力を備えた入学生の確保: 60名について校長より説明

目標60名に対し、合格者は43名で達成率72%であり、自己評価は目標未達成とした。

<質問および審議>

小俣委員長: 高校PTAの農大訪問は3校ですか

副校長: 国庫事業を活用した訪問は3校ですが、PTAの独自活動として訪問した高校が2校ありました。

校長: 本校への志願者が減少しているが、高校生の就職状況はどうなっていますか

小俣委員長: 就職は好調で、高校生1名に対して企業は県外も含めると3社からの求人がある状況です。しかし、県外就職では離職率が高い傾向です。

高校の1年次から農業大学校への進学を促しているが、農業系高校においても農業後継者が1割程度の場合もあり、農大進学を希望する生徒がすくないのが現状。かえって、非農家の生徒には入学時から農業経営を目指している者もあり、農業への興味を3年間持続させて農大進学を勧める。

小俣委員長: 評価については、3の目標を未達成で良いですか

委員: 異議なし

<報告事項 2>

【運営方針2】 質の高い教育の提供

数値目標 日本農業技術検定3級相当の専門知識習得者80%以上

在学中に5個以上の資格取得者80%以上について校長より説明

日本農業技術検定3級以上取得者は93名中63名で、67.7%となった。目標80%に対して達成率は85%

在学中に5個以上の免許取得者は57名中44名で、取得率は77%となり、目標の80%に対して達成率96%であり、目標をほぼ達成とした。

<質疑及び審議>

農学部長 : 農業技術検定について補足説明をします。農業技術検定には1級、2級、3級の3段階があり、農業系高校でも取得できます。本校では試験会場として年2回開催し、受験することができます。本年はのべ36名の学生が受験しました。

農業技術検定は、農業の基礎知識を客観的に評価できる全国共通の統一試験です。

三浦委員 : 「毒物劇物取扱責任者」の資格も取らせてほしい。卒業後に役に立つ

志賀委員 : 試験は一般と農業用がある。試験の実施機関はどこになるのですか

校長 : 試験の実施機関について調べてみます

※ (実施機関は大分県福祉保健部薬務室)

古庄委員 : 毎年「プロジェクト・意見発表会」を参観しているが、今年の発表は個性的で良かった。

増田委員 : グローバルGAPは来年度継続審査とさらに新しい作目を加える計画ですか

農学部長 : 本年度取得したカンショは継続審査を行い、さらに果樹で取得予定です

湯浅委員 : 毎年ヤンマーの作文コンクールで入賞していたようだが、今年は応募しなかったのですか

農学部長 : ヤンマー作文コンクールにも応募しましたが残念な結果となりました。その代わりというわけではありませんが毎日農業記録賞に応募して、全国段階での入賞となりました。また、技能5輪のフラワー装飾部門では銅賞を取ることができました。

先端農業技術の習得としてドローンの導入予定があります。

研修部長 : 宮崎農大がドローンの教習を行っているので、本校でもそれに習って来年度から、教官の育成を行う予定。民間団体が1~2年程度農大でスクールを立ち上げ、教官の育成と併せて最終的には農大で教習が実施できるようにしていく計画です。

志賀委員 : 農家に対する市単独事業の中にドローンの導入も含まれます。但し運行許可や農薬散布の資格取得が必要となります。豊後大野市としても、転作確認などでドローンを積極的に活用する計画はあります。

小侯委員長 : 運営方針2の評価は、2の目標をほぼ達成で良いですか

委員 : 異議なし

<報告事項 3>

【運営方針3】 新規就農者の確保

数値目標 全学生・研修生の進路決定率100% 就農率80%以上について校長より説明

進路決定率100%に対して、農学部100%、研修部100%見込み、就農率は農学部70.2%、研修部88%で、農学部、研修部を併せた就農率は75%となり、目標の80%に対し達成率は94%であり、目標をほぼ達成とした。

<質疑及び審議>

増田委員 : 農学部の内定状況でその他17名の就職先は

農学部長 : JAや農機具メーカーなどの関連企業が多いです。また研修先は、佐伯のファーマーズスクール1名、北海道の酪農研修生1名です。

小侯委員長 : 自営者6名のうち、新規就業は何名ですか

農学部長 : 6名は全て親元就農です。農業法人に就職後、そこで技術をさらに習得して自営就農を希望する学生はおります。

湯浅委員 : 新規就農者が少なく、耕作放棄地が増加しているが、農業の未経験者が就農しても経営できないことがあるので、まず、農業法人に就職してから、自営就農することは好ましい。

増田委員 : 法人の就農率はここ数年増加しているが、就農1年後の定着率を参考資料として示してほしい。

農学部長 : 一昨年就職した学生(就職後1年経過した者)の定着率を調査したところ、3割りが離職している状況でした。しかし、高卒の離職率が5割なので、それよりは少ないのでは

増田委員 : 研修部での研修期間はどれくらいですか

研修部長 : 4月から3月までの11ヶ月間の長期研修と7月から3月までの7ヶ月間の中期研修があります。3月までにはパートも含めてさらに3名が就農する予定です。研修部の農業への定着率は高いが、年齢が高いので受入れがない場合もあります。

増田委員 : 研修部の研修時間はどのくらいですか

研修部長 : 9時から16時まで、昼休みを挟んで6時間の研修を毎日行っています

小侯委員長 : 運営方針3の評価は、2の目標をほぼ達成で良いですか

委員 : 異議なし

#### (2) 令和2年度の農業大学校の取り組み概要について

副校長から説明。運営方針1、2、3ともに本年度と同様の内容で実施したい。具体的な取組方針のうち、スマート農業などの先端技術の学習にドローン操作を追加。さらにリカレント教育推進のための施設整備を追加しました。

湯浅委員 : 日本農業技術検定の受検にかかる経費はどのくらいですか

農学部長 : 受験料は学生料金で1,500円程度と受験のためのテキスト代が1,500円から2,000円程度です。

小侯委員長 : 本年から「くじゅうアグリ創生塾」への遠隔授業が実施されましたが、遠隔授業は来年度も強化されると思います。また、「くじゅうアグリ創生塾」と大学校への訪問見学がセットになっているので、来年度もよろしくお願いします。

#### (3) 令和元年度のアンケート結果について

副校長から説明。アンケートは例年と同様、保護者、学生、指導教員に対して評価という形で行った。また、過去5年間の評価と令和元年度の評価を比較した。いずれの評価でも、施設・設備に対する評価が低くなっている。施設の整備については、5カ年計画を立てながら、できるところから整備していくようにしていく。

湯浅委員 : 昨年の副校長の話では、寮生活が乱れていたのでは点呼の方法を改善したとの報告があったが、どうなっていますか。

農学部長 : 朝、夜の点呼は継続して行っている。また点呼欠も毎日回数を確認し、指導している。

次 長 : 施設設備のうち、学生は寮内でのWi-Fiの整備状況に不満があるようですが、年年容量が大きくなるので、希望に添えない事もあります。

小侯委員長 : 全体を通じて意見・質問はありませんか

増田委員 : トラクターの運転免許取得を農大で大量にできないか

研修部長 : 大型特殊免許の取得について農大にも問い合わせが寄せられています。農大では、年間5回大型特殊免許取得のための講習と試験を実施していますが、学生と研修生の対応でいっぱいです。しかし一般の農家の方も受入れ人数に制限はありますが、一部受入れています。一般の農家の方は振興局を通じて受入れることにしています。

湯浅委員 : 試験官は運転免許センターから来るのですか

研修部長 : はい

小侯委員長 : そのほか、ご意見はありませんか。

内容ですので、これで議事終了させていただきます。議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。審議結果は農大のホームページで公開いたします。